

競 技 注 意 事 項 (ヤマフィールド 長居会場)

1. 本競技会は 2025 年日本陸上競技連盟競技規則と本大会申し合わせ事項により行う。

(1) 競技用シューズについて

審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。競技用靴規定に違反して競技を行った場合は失格とする。

種 目	ソールの最大厚さ	その他の要件 / 注意
トラック種目	20mm	競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは道路競技と同じとする。
道路競技 (競走・競歩)	40mm	

(TR5.2)

- (2) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや・携帯電話・スマートフォン、タブレット等の通信機器や録画再生機器等を招集所および競技エリア内に持ち込むこと、使用することはできない。(TR. 6.3.2)
- (3) 当該種目出場の競技者以外は、競技区域に立ち入ることができない。また、競技者は招集完了後競技終了まで、当該競技役員の許可なく競技区域から離脱してはならない。

2. 競技場への入場について

- (1) 正面スタンド1F入り口を開放する。
- (2) 入場証は不要とするが、各校顧問が入場者の把握に努めることとする。
- (3) 観戦は学校関係者のみとし、入場時や観戦中に各校との関係について確認することがある。

3. 練習について

競技開始前の競技場での練習について

競技会開始前の競技場（トラック）での練習は、周囲の動きに十分注意して行うこと。ただし、練習可能時間内であっても競技会準備を優先とし、競技役員の指示に従うこと。競技場での練習は、**16時30分まで**とする。
なお、**日傘は周囲の安全に留意して使用すること。**

4. 招集（コール）について

- (1) 招集時刻（招集所：室内練習場）
開始時刻は競技開始時刻の30分前 完了時刻は競技開始時刻の20分前
- (2) 競技者は招集開始時刻までに招集所内に待機し、競技服装（アスリートビブス・腰ナンバーカードを付けている状態）になり、競技で使用するシューズのチェックを受ける。整列点呼後、招集所から各競技場所へは、競技者係の誘導によってまとまって移動する。
- (3) 招集に遅れた競技者は、欠場したものとして処理する。
- (4) 点呼の代理は認めない。
- (5) 止むなく欠場する場合は、招集所にある「欠場届」を、招集完了時刻までに招集所に提出すること。

5. 競技進行について

(1)トラック競技のレーン順はすべてプログラム記載の順番とする。

(2) 競技について

- ①競技結果は、場内アナウンスおよび場内スクリーンで発表するとともに、大阪高体連 WEB ページに掲載する。競技結果が場内スクリーンに表視され場内アナウンスで発表された時点を正式発表とする。
- ②当該種目出場者以外は競技区域に立ち入ることはできない。
- ③スパイクのピンの本数は11本以内とし、9mm以下のものを使用すること。また、先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。スパイクのピンのチェックは1次招集時に行う。
- ④別ビブスを使用する。ビブスは胸部と背部につけること。
- ⑤腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお腰ナンバーカードは主催者が用意する。
- ⑥5000m・3000m・男子3000mWはグループスタートとする。
- ⑦5000mは17分30秒、3000mは13分00秒、男子3000mWは17分、女子3000mWは21分を超えて次の周回には入ることができない。審判長により競技を打ち切る。
- ⑧連呼応援は、アナウンサーの通告や審判員の指示の音が聞こえない場合もあるので、応援のマナーとして自粛するように。
- ⑨**日傘は周囲の安全に留意して使用すること。**

なお、個人所有の椅子や大型のクーラーボックス等などは、競技会への影響や安全確保・危険防止のため競技エリアへの持ち込みおよび使用を禁止する。

6. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟競技規則により、当該校顧問から、総務員に口頭で申告し、総務員が審判長に取りつぐ。

日本陸上競技連盟競技規則 (TR. 8. 2)

競技(ラウンド)の結果または競技実施に関する抗議は、その競技(ラウンド)の結果の正式発表後30分以内に行わなければならない。

〔国内〕 同一日に次のラウンドが行われる競技では、その結果が正式に発表されてから15分以内に申し出なければ、なんら問題はなかったものとみなされる。

7. 表彰について

- (1) 各種目で6位までの入賞者に賞状を授与する。第3位まで種目表彰を行うので、成績発表後直ちに受賞者席(玄関ロビー)に集合すること。なお、個人種目は4位から6位にも賞状を渡すので、成績発表後、速やかに玄関ホールまで賞状を取りに来ること。
- (2) 学校対校得点は1位8点、2位7点…8位1点とし、1・2年の得点およびリレーの得点を合計して総合優勝を決定する。(総合表彰式は第4日目(8月20日)競技終了後に行う)

8. 近畿ユース大会について

- (1) 近畿ユース大会への出場者は各学年、各種目3位までの入賞者とする。
- (2) 近畿大会の出場権を得た競技者は、必ず近畿大会受付にて申し込み手続きを行うこと。

9. 競技場の使用について

- (1) 応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わない。また、スタンド最前列及び中央通路での立ったままの応援・観戦も禁止する。**日傘の使用は周囲の安全に留意すること。**

- (2) 以下の箇所にはテントを設置しないこと。
 - ①サイドスタンド中央通路より下側
 - ②メインスタンド中段通路より下側および屋根の下なお、テントを設置する際に、ロープ等が通路にかからないようにすること。
- (3) 各校部旗・横断幕は、バックスタンド・サイドスタンドを使用すること。
- (4) 更衣室は更衣のみとし、使用後は速やかに退室すること。また、一切の私物等を置いてはならない。
- (5) 各校が使用した場所は、責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること。
- (6) 通行禁止、使用禁止等の指示については厳守すること。
- (7) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。

10. その他

- (1) 競技場敷地外の公園内では、許可された場所以外のシート・テント等による場所取りは厳禁とする。
- (2) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
- (3) 競技中に起こった怪我等は、本部の医務室で応急処置のみを行う。
- (4) 盗難の発生や忘れ物に注意し、荷物等の管理は各校で十分注意すること。
- (5) 外国人留学生在が大会記録を更新した場合の取り扱いは、大会記録（国際）として認定する。
- (6) Jアラート警報が発令された場合は、競技を中断する場合がある
- (7) 「熱中症予防運動指針」に従い、「暑さ指数（WBGT：湿球黒球温度）」に応じて、競技を中止・中断・延期・時間変更などをする場合がある

個人情報の取り扱いについて

プログラム記載の個人情報（名前、学校名など）および大会結果は、新聞および大阪陸上競技協会・大阪高体連陸上競技専門部のWEBサイト等に記載されますが、本大会関係以外には一切使用しません。また、本大会が認めた報道機関が撮影した映像が中継・録画放送されることがあります。

＝ 周 知 板 ＝

第 58 回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会について

期 日：9月19日（金）・20日（土）・21日（日）

場 所：和歌山県和歌山市 紀三井寺総合運動公園陸上競技場

総監督：船津哲史（大塚）